



福岡女子大学同窓会

筑紫海会会報

vol.
103
2026

福岡女子大学 第13回ホームカミングデー

筑紫海会 創立100周年記念イベント

講演会

料理研究家
村上祥子先生(大11食)

「人生、食べて、カッコよく」



今回は、本学の同窓生であり、電子レンジ調理の第一人者として知られる村上祥子先生を講師にお迎えいたします。日本の食と健康の歴史をたどりながら、人生100年時代となった今、私たちを取り巻く環境が変化しても、日々三食をいただくという営みは変わりません。元気のもと食べ方次第というお話を伺いながら、電子レンジを使った調理実演も目の前でご覧いただけます。

村上祥子氏プロフィール

料理研究家。管理栄養士。福岡女子大学客員教授。1964年、本学家政学部食物学科を卒業後、1985年より本学で病態栄養指導講座を担当。らくチン離乳食から栄養満点おべんとう、糖尿病予防・改善レシピ、介護食に至るまで、あらゆるジャンルに電子レンジテクを活用したレシピを開発。「ちゃんと食べてちゃんと生きる」をモットーに、日本国内はもとより海外でも「食ベカ(ぢから)®」をつけることへの提案と、実践的食育指導に情熱を注ぐ。2025年、福岡県の文化交流への貢献が認められ、第33回福岡県文化賞(社会部門)を受賞。

日時

2026(令和8)年
4月19日(日)
13:10~15:00

会場

福岡女子大学 大学会館

筑紫海会会員

300名
事前予約制

総会、講演会の申込方法の詳細については8面をご覧ください。

筑紫海会 100周年へ

3委員会の活動をピックアップ!

筑紫海会創立100周年記念事業実行委員会(IT化委員会、記念誌委員会、式典委員会)のこれまでの主な活動をご紹介します。

IT化委員会

ビキタ Bikita スタート

2025年3月、同窓会と会員、会員同士をつなぐ新たなコミュニティサイト「Bikita(ビキタ)」をスタートしました。会報発送時に会員登録ID・パスワードを同封し、総会、クラス委員会、支部長会等で登録サポートや活用紹介を行うなど、周知活動を継続しています。

サイト内では、2025年9月から「大学通信」タイトルが新設されるなど、コンテンツの拡充も進行中。今後も、一斉メールによる新着情報の配信や、イベント申込時の先行予約機能など、利便性向上に向けた取り組みを行っていきます。



記念誌委員会

百周年記念誌制作

筑紫海会の100年を振り返る「筑紫海会百周年記念誌」(2027年秋刊行予定)を制作中です。1997年刊行の「憶が原から香住丘へー筑紫海会七十年の軌跡ー」の続編として、その後の30年間の歩みを中心にまとめました。筑紫海学園の総括や、女専1回生から現在までの卒業生名簿も掲載予定です。

また、大学院修了生へのアンケート、新学部創設前の学生生活に関する資料収集や取材、筑紫海会賞受賞者によるオンライン座談会、コロナ禍の学生生活をテーマとした座談会など、多角的な視点で充実した内容となっています。



71回卒業生の座談会

式典委員会

イベント開催

筑紫海会では、創立100周年を広く周知するため、3年にわたりイベントを開催してきました。

2024年4月:古澤巖ヴァイオリンコンサート

2025年4月:渡邊俊教授による講演
「大学百年史こぼれ話」

2026年4月:村上祥子先生による講演会



2024年 古澤巖コンサート

なお、2027年3月21日(日)には、記念式典および古澤巖ヴァイオリンコンサートの開催を予定しており、現在その企画・運営に向けて準備を進めています。

2027年3月21日(日)スケジュール(予定)

10:30~11:30 オープニングセレモニー・記念式典等
11:50~12:10 総会
13:30~15:30 記念コンサート

来年の記念イベントのおトクな申込方法については3面をご覧ください。

会長挨拶

100周年から

未来を

目指して

第14代筑紫海会会長

辻村 克江 (大24食)



2025(令和7)年の総会において、皆様のご承認を賜り、引き続き会長を仰せつかりました辻村でございます。会員皆様との親睦を二層深め、母校との連携をより強固にし、その発展のために役員一同、全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、筑紫海会は、2027(令和9)年に創立100周年を迎える、歴史と伝統ある同窓会です。近年の私立女子大での共学化の流れの中、大学の価値を決めるのは、外面的な変化ではなく教育の中身だと確信しています。

同窓会100周年記念誌の制作にあたり、様々な同窓生と交流する中で、近年の学生たちが目覚ましく進路を広げ、大学が活況を呈している事実に触れました。留学制度の充実や全寮制の導入といった、母校が提供してきた先進的な教育環境が、複合的に実を結んできている結果でしょう。

「国際社会で活躍する実践的な女性リーダーを育成する」という母校の理念を尊重し、「社会の中枢に女性を送り出す」力強い後押し役として、同窓会が未来へ向けて在り続けられるよう努めてまいります。

これまでも皆様からの浄財は、学生の留学支援等に活かされていますが、新たにキャンパスイルミネーションや、学生・教職員健康増進のためのウォーキングチャレンジへの協賛で、支援の輪を広げることになりました。イルミネーションの華やかな景観は冬の風物詩として地域貢献につながり、学生の皆さんに同窓会を身近に感じていただく機会にもなることを期待しています。

100周年、そしてその未来に向け、皆様の温かいご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

学長挨拶

プライド

活躍する

卒業生たち

福岡女子大学理事長兼学長

向井 剛



1947年4月、福女大では、大学昇格運動が始まり、学生たちは街頭での物品販売、教育宝くじ、バザーの開催など、資金集めに奔走したことが『福岡女子大学百年史(通史編)』(138頁)に記されています。晴れて本学は、1950年に大学昇格を勝ち取りました。

時を同じくして関東でも、女子専門学校の大学昇格運動のため、ある団体が結成されています。それが女子大学連盟です。昨秋、結成78年となる女子大学連盟の総会が本学で開催されました。学生の募集停止を予告する大学、共学化する大学など、

女子大学に逆風が吹く中での運営となりました。女子大学の危機を喧伝する社会に対し、内輪で議論するだけではなく、女子大学の存立意義や社会的役割を進んで発信する必要があるの思いから、マスコミを含め広く世間に向け、「公開シンポジウム」いま、女子大学を考える」を企画しました。

またこの機会に、「プライドー活躍する卒業生たち」をホームページに公開いたしました。作成に当たっては、同窓会本部(各支部)に推薦をお願いいたしました。多くの方々から、それにおお

えすることができなかったことをお詫びいたします。先ずは、誇るべき卒業生の第二陣としてご理解いただき、今後の充実に期していただきたいと思ひます。同窓会の皆さまにとっては母校愛の源となり、現役の学生には誇りとなり、また高校生たちには進学を促す契機になると信じます。

福女大は、今後も今持つ特色をいっそう強め、別学教育の環境を最大化して、来るべき社会に向けた有為な女性人材を育成いたします。

波紋



週に1回、放課後、中学校で数学を教えている。先日、突然「先生の自慢は何ですか」と質問された。「マンドリンアンサンブル」と答えた。女子大マンドリンクラブOGで、還暦を過ぎて軽い気持ちで結成したところが、年齢には抗えず、目は見えず、指は動かず、肩は凝る。覚えは悪く根気も無い。それでも練習すれば上達はするのである。今更にして練習は裏切らないことを実感できた。

学生の頃、マンドリンなら電車まで運ぶことができた。理由はともあれ、その選択のおかげで60代の今、人様の前で演奏し喜んでもらえる。達成感も味わえる。演奏に穴をあけないように体調に気を付ける。練習後に楽しいお茶の時間を過ごせる。さらに認知機能の維持にも役立つているはず。いいことしかない。

中学生には「すごい」と、驚くほど褒められた。マンドクラ万歳!

久留米・筑後地区支部長

廣松 美和 (大28食)



2027年 筑紫海会創立100周年記念イベント先行予約のお知らせ

筑紫海会創立100周年記念イベント 古澤巖ヴァイオリンコンサート

◎開催日時/ 2027(令和9)年3月21日(日) 13:30~ ◎会場/福岡女子大学 大学会館

2027年、福岡女子大学同窓会筑紫海会は創立100周年を迎えます。
記念すべき節目の年に向けて、筑紫海会では、これまで3年にわたり創立100周年プレイベントを開催してまいりました。今年度のプレイベント「村上祥子先生講演会」では、先行予約制を初めて導入し、先行予約された方には、早めのご入場や抽選で村上先生サイン入り著書のプレゼントなど特典をご用意しています。

来年2027年には、筑紫海会創立100周年記念イベントとして、国内外で活躍するヴァイオリニスト古澤巖氏をお迎えし、心に響くコンサートの開催を予定しています。2年前のプレイベントでも、お母様の古澤正子様とご友人の薄昭子様(共に女専25回生)をはじめ同窓生の皆様のご尽力により、盛大なコンサートを実現することができ、420名を超える皆様にご来場いただきました。

来年の記念コンサートでも、特典付きの先行予約を行います。

■ 先行予約の方法

- 先行予約の詳細は、筑紫海会ホームページ(Bikitaサイト:右記QRコードまたは下記URL)で2026年秋頃、告知を行います。URL:<https://www.bikita.jp/class/?cl=cfee70>
- 先行予約期間になりましたら、Bikitaの先行予約サイト上のGoogleフォームからお申込みができます。
- Bikitaサイト、スマホやパソコンをご利用されない方もご安心ください。郵送またはFAXでもお申込みいただけます。



● Bikita会員登録方法/簡単3ステップ

Bikitaサイトに予め会員登録いただくと、お知らせメールの受信、サイト上からの簡単なお申込みが可能となります。この機会にぜひ、ご登録いただき、従来のホームページの機能を超えるコミュニティサイトの便利な機能をご活用ください。一度登録すれば、今後のイベント情報や限定コンテンツも受け取ることができます。

- ①上記QRコードからBikitaにアクセスし、ID・パスワード*を入力
※ID・パスワードが不明の方はこちらから▶
(照会には数日かかる場合があります)
- ②メールアドレスを入力し、確認→登録をクリック
- ③届いたメールに記載のリンクを開いて必要項目を入力し、確認後、登録をクリック→登録完了!



古澤巖氏プロフィール

嬉野の父、佐世保の母の元1959年生まれ。博多では毎年12月にベルリンフィル・ストリングスと「愛のXmas」ツアーを行っている(12年目)。葉加瀬太郎、高嶋ちさ子との「三大バイオリン」メンバー、競技ダンス番組「Dの旋律」出演中(毎週出25:30-BSテレ東)。年間国内だけで160公演を行い、コルシカ島では20年以上続くフランスを代表する音楽祭のゲストとして招かれている。洗足学園音楽大学客員教授として学生達との公演を担当、毎夏日向ミュージック&サーフィンキャンプ開催。

あなたの登録が、同窓会活動を支えます

●福岡女子大学フィルハーモニーオーケストラ第3回定期演奏会 (2025年11月4日)



●ろうそく能 (2025年11月11日)



●かすみ祭で同窓会イベント「日本文化とふれあう」を開催 (2025年10月25日)



10月25日(土)に開催された第72回かすみ祭において、筑紫海会は「日本文化とふれあう」をテーマに、折り紙体験、煎茶体験の2体験コースを実施しました。

●イルミネーション点灯式 (2025年12月1日)



第9回筑紫海会賞

..... 受賞者紹介



山下 歌琳さん(国際教養学科4年)

ランゲージカフェ活動を基盤として、学内のグローバル化に資する複数の活動に参加し、3年次のカフェ10周年イベントでは中心となって活躍されました。学外においても、「帰国子女の会イースターイベント」、「元気日本語学校 街歩き」、「冬休み親子にほんご教室」、福岡で日本初開催となったWFTGA(世界観光ガイド連盟)総会での通訳など、様々なイベントのサポートに尽力されました。また、同窓会コミュニティサイトへの卒業生の登録サポートにも積極的に協力いただきました。

大学探訪
Ⅲ

未来を拓く学びの場

～女性リーダーと食の探求～

今号では、大学創立 100 周年記念事業として 2022 年 4 月に設置された、女性リーダーシップセンターと国際フードスタディセンターについて紹介します。



女性リーダーシップセンター

本学の基本理念「次代の女性リーダーを育成」の取り組みを加速するために設置され、リーダーシップに関する教育、研究、社会貢献を推進しています。トップリーダー人材育成の拠点となることを目指し、学生向けのプログラムに加え、社会人女性向けの研修も行っています。

リカレント教育

産学官のトップリーダーによる講演や交流を通じて視野を広げる「女性トップリーダー育成研修」を実施しています。アト思考を取り入れたワークショップでは、既存の価値にとらわれず、自分起点でユニークな価値を創造する力を養います。様々な職種や業種の受講生間の交流により、参加者同士のネットワーク作りにもつながっています。

さらに、実践力向上を目的とした「アドバンストプログラム」を新たに開講。講義で得たスキルや知識をもとに、新事業の創出を想定したビジネスモデルの構築を行い、発表は、ワン・フックオカビルディングのスカイロビーにて行われました。

学術研究助成金交付事業

学生や卒業生が行う調査・研究活動を助成する制度です。1件5万円
で、2025年は公募
枠3件、推薦枠4件に
交付されました。

社会貢献

福岡県の委託を受け、2023年にスタートした「福岡キャリアカフェ」は、県内で働く女性にキャリアのロールモデルとの出会い、交流の場を提供します。コワーキングスペースQ(アミュープラザ博多)にて開催し、登録者は1000人を超えました。
2025年3月ベンチャーカフェ福岡にて、女性起業家を応援するイベントが行われ、本学の学生がビジネスアイデアのピッチ(短時間のプレゼンテーション)を行いました。

品川啓介センター長・教授より

リーダーシップとはカリスマ性だけでなく、協調性や粘り強い対話力を通じて、組織やチームが新しい認識を構築し、最終的にみんなが腑に落ちるような理念を探求することです。リーダーシップセンターは、自分で自分の心の舵をとるスイッチを入れてもらう場所です、気軽に訪れてください。

詳しくは
コチラ



ビジネスピッチ



福岡キャリアカフェ



スカイロビーで発表

国際フードスタディセンター

「食をつなぎ創造する」をコンセプトに設置され、食と栄養をとおして、すべての人々の尊厳と幸福を探索する研究拠点です。グローバルな視点から食と栄養の課題解決のための研究や新たな食の創造事業に取り組みます。

国際教育プログラム

福岡女子大学、梨花女子大学(韓国)、マヒドン大学(タイ)の3大学による「EATプログラム」は、2025年8月に韓国で開催されました。参加した各国の学生は、サムゲタンの調理実習や南大門市場、寺院の見学を通じて、特に韓国の食について理解を深め、交流を楽しみました。



調理実習

カリフォルニア大学デイビス校との連携による「Davisプログラム」では、9月に約2週間にわたり、食と環境に関する先進的な取り組みを学びます。2025年度は「食フォークラス」として、14名の学生が参加しました。期間中はホームステイを体験し、英語による講義のほか、給食施設や学生農園を訪れ、現場での学びを深めました。



NPO訪問

2025年5月、ジョージア大学の学生21名を2年度連続で受け入れ、「EAT」「Davis」両プログラムの参加学生とグループワークを行いました。日本の食文化に関する講義の後、小豆を箸で運ぶゲームや書道、唱歌「茶摘み」の手遊びなどを通じて交流を深めました。



茶摘みの手遊び

国際共同研究の推進

センター長の脇坂教授は、交流協定校である中国やマレーシアの大学と精力的に共同研究を進め、学術論文を発表しています。さらに、穴井助教はアフリカ・ザンビアにおける母子保健に関する調査研究を、九州大学の研究グループとともに推進しています。加えてセンターでは研究者の短期受入による国際的な研究交流も行っています。

脇坂港センター長・教授より

2025年11月には、佐賀県白石町でのレンコン掘り体験をはじめ、同窓会と連携した在学生との交流企画も実施しました。食と栄養に関するお困りごとがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

地域貢献

福岡県の減塩プロジェクト「TRY! スマソフ?」として、2024年には民間企業と連携しミールキットの商品化、2025年には福岡県醤油工業協同組合と協力して減塩醤油の開発に取り組みました。また、教育活動活性化提案事業として「災害食を学ぼう!」と題したイベントを開催しました。食・健康学科の佐久間准教授が被災地での栄養状態に関する調査研究の経験をもとに講演を行い、参加者はアルファ化米や長期保存食の試食体験を通して、災害時の食の備えについて理解を深めました。



災害食の試食

詳しくは
コチラ





あわみん本舗代表
岡本 凉子 (大22被)

この出会いに感謝して



先輩方に試作品をさし上げたところ、10枚単位の「ご注文をいただき、「ぜひ世に出したい」と自ら製造販売を決意。2008年、全国の東急ハンズで「浴用タオルあわみん」がデビューしました。

2024年には京都府販売支援商品に認定されました。また、あわみんの泡は皮膚表面だけでなく皮膚下にも作用していると思える事象があり、解明したい思いだったところ、母校のオープンキャンパスで「泡の研究室」を知る機会に恵まれました。近畿支部総会にご出席の吉村副学長に相談しましたところ、国際文

理学部環境科学科の池田教授をご紹介いただき、研究室をお訪ねしました。泡表面の変化の実験を拝見し、私の求めに近い研究をなさっておられると、奈良女子大学理学部化学生物環境学科の吉村教授をご紹介いただき、吉村教授にお会いして実験をお願いできることになりました。今後の展開が楽しみです。

卒論は、布おむつのカバー素材にはウールが最適であると実証された平松園江教授の研究室でした。神戸の子供服メーカー「ファミリア」に入社し、品質管理室に勤務。当時の坂野淳子専務は2016年放送のNHKテレビ小説「べっぴんさん」のモデルとなった方です。

出産退社後は学習塾を運営しながら、肌を傷めない浴用タオルの試作を始めました。(社)全国発明婦人協会に入会して発明を学び、特許を取得。しかし、メーカーへの売り込みはコストが高すぎて商売にならんと全滅。ところが、筑紫海会近畿支部の

の師や友人と出会い、そのつながりは今でも私の大きな財産となっています。大学院卒業後は通産省工業技術院(現・産総研)に就職し現在に至っています。その間、アメリカのハーバード大学とスウェーデンのヨーテボリ大学へ留学する機

会を得、特にハーバード大学では、アルツハイマー病の研究で世界的に有名なラボに所属し、国内外の新しい知己を得ました。帰国後はMCIのモデルマウスの開発を始め、産総研に集う多様な専門家の力を借りて、私一人では成し得なかつた成果を出すことができました。

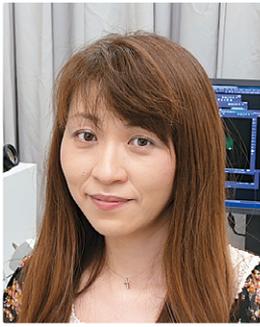


私は産業技術総合研究所(産総研)で主任研究員として、アルツハイマー病の初期段階である軽度認知障害(MCI)の発症の仕組みや、新しい治療標的の探索に取り組んでいます。アルツハイマー病は、脳に「アミロイドβ(Aβ)」という

れなどにつながる事が分かってきました。私は細胞内でAβオリゴマーを「光らせて見える化」する方法を開発し、さらにそれを応用して、世界で初めてオリゴマーの毒性の解析に特化したモデルマウスの開発に成功しました。このマウスは、病気の初期の脳内変化や発症初期に効く物質の探索に非常に有用です。

私は大学卒業後、筑波大学大学院に進学し、博士課程は東京都神経科学総合研究所で研究を行い、医学博士の学位を取得しました。そこでは記憶や学習に関する研究の面白さを教えていただき、多く

私は人生のさまざまな局面で、いろいろな人とのめぐり合わせが新しい道を拓いてくれたと感じています。学び続ける姿勢や仲間との助け合いは、どのような場面でも必ず力になると信じ、これからも研究成果を社会に還元できるように努力したいと思っています。



国立研究開発法人
産業技術総合研究所
落石 知世 (大35理)

人とのつながりが育んだ私の研究の道

私は大学卒業後、筑波大学大学院に進学し、博士課程は東京都神経科学総合研究所で研究を行い、医学博士の学位を取得しました。そこでは記憶や学習に関する研究の面白さを教えていただき、多く



Aβオリゴマーを光らせたマウスの胎児



浴用タオル あわみん

■ 特許の構造

あわみん本舗
オフィシャル
ホームページ



会報に関する
アンケートのお願い

特集「大学探訪Ⅲ 未来を拓く学びの場」いかがでしたか? 特集記事の感想、なでしこの系譜に推薦したい同窓生の情報などをお寄せください。アンケート回答のお礼として、先着10名様に、なでしこグッズをプレゼントいたします。



支部だより

宮崎支部

支部長
松本 君江 (大18被)



令和7年6月、宮崎市のニューウェルシティ宮崎「大淀の間」にて第22回宮崎支部の総会を開催しました。来賓に大学事務局長の柳瀬留美様、同窓会副会長の坂本千恵子様をお迎えし、参加者22名、女子大名誉教授で宮崎市在住の恒吉良隆先生の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。支部会員の近況報告では、仕事やボランティア活動、趣味にいたるまで、皆さんとてもアクティブ、年齢は全く関係ありません。

中でも延岡市の高校国語教諭の長谷川聡子さん(大45国/国修6)は、教え子が令和7年の宮中歌会始に、宮崎から31年ぶりに選ばれたことを話され、感嘆の声が上がりました。支部総会がコロナ禍の影響で延期されたため、昨年度から会報誌発行と総会開催を同じ年に行うことになりました。少し大変でしたが、幹事の松本京子さん(大29理)が、役員会の会場を提供してくださり、定期的に集まりながらスムーズに準備を進められたのは幸運でした。次の総会でまた、皆さまとお会いできることがとても楽しみです。

大分支部

支部長
柳沼 みちる (大32英)



10月25日、大分支部総会を別府市のアマネリゾートホテル晴海(レストランえいたろう)で開催いたしました。総勢8名でした。

気候がよいこと、宇佐市安心院町が有名なブドウの産地で、お茶菓子やお土産で喜んでいただけのため、10月開催にしています。

今回は3年前のような大掛かりな支部会則変更がなく、総会は短時間で終了。レストランの時間制限上、お食事に時間を多く割り、自己紹介や近況報告で交流を深めました。80歳の先輩方の活発な行動や他の先輩方の苦労話など、大変興味深く、全員が刺激を受け合い有意義な時間を過ごしました。ぜひ多くの会員にこうした経験を積んでいただきたいです。温泉も楽しんでいただきました。

本部の田中理事から2年後の筑紫海会創立100周年関連のお話と、ピキタ登録お手伝いを有難く承りました。

令和7年も筑紫海会総会及び各支部総会に、左記のとおり大学よりご出席いただきました。各会が充実したものになりましたことに、心よりお礼申し上げます。

支部	大学からの出席者 (敬称略)
総会	理事長・学長 向井剛
鹿児島	理事長・学長 向井剛
宮崎	事務局長 柳瀬留美
佐賀	副学長 吉村利夫
東京	副学長 庄山茂子
熊本	副理事長 飯田和郎
長崎	副理事長 飯田和郎
久留米・筑後	副学長 庄山茂子
北九州	副学長 太田雅規

令和8年度 支部総会等予定

各支部とも皆様のご参加をお待ちしております。

佐賀	6/3	唐津(親睦旅行)
近畿(親睦会)	6/7	未定
熊本	6/7	ホテル日航熊本「桃李」
東京(親睦会)	6/14	ホテルポール麹町
筑豊	6/21	のがみアレジデントホテル
久留米・筑後	6/28	ハイネスホテル久留米
北九州	6/28	湖月堂本店「喫茶去」

※ご連絡いただいた予定を掲載しております。以降の連絡分を含めて最新の情報は、ホームページをご確認ください。

支部紹介

同窓会ホームページ(BE.BE)トップページの「支部紹介」タイトルから各支部グループへのリンク、支部の活動や会報もご確認いただけます。下記QRコードからサイトにアクセスしてご覧ください。



学内同窓生との交流会

2025年8月4日

福女大に勤務する同窓生との交流会を和カフェ「空とたね」で開催。20名が参加し、自己紹介や近況報告を通じて親睦を深めました。前日のオープンキャンパスの盛況報告もあり、福女大の魅力や同窓生の活躍に触れる温かなひと時となりました。



クラス委員会

2025年10月25日

大学のセミナー室2において、向井理事長兼学長はじめクラス委員および理事47名参加のもと、対面とオンラインによるクラス委員会を開催しました。大学からは、2027年度の学科再編に向けた動きを、同窓会からは、筑紫海会創立100周年記念事業の進捗を説明させていただきました。委員会終了後には、BE.BEの登録・活用サポートや、同日開催されていたかすみ祭で交流を深めることができました。



支部長会

2025年11月15日

大学のC101講義室において、12支部の皆様にご出席いただき、対面とオンラインによる支部長会を開催しました。向井理事長兼学長からの福女大の今後の展望等についてお話や太田副学長による賢い減塩についての講演を、皆さん熱心にお聞きになっていらっしゃいました。午後からの協議では、各支部の状況報告に基づき、今後の支部活動のあり方について、議論が行われました。



2026(令和8)年度筑紫海会総会及び講演会のご案内

総会及び筑紫海会創立100周年記念イベント「村上祥子先生講演会」を下記のとおり開催いたします(会報1面参照)。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- (1) 日 時：**令和8年4月19日(日)**
【総会】◎受付/9:30~ ◎開会/11:00~11:40
【講演会】◎開場/12:40~ ◎開演/13:10~15:00
- (2) 会 場：福岡女子大学 ※当日お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。
【総会】C201 講義室(Zoomによる同時配信)
【講演会】大学会館
- (3) 参加費：**2,000円**(お弁当、お茶代) ※現金のみの受付となります。
 ※当日は、年会費、寄附金も受け付けます。
- (4) 議 事：令和7年度事業・決算報告/令和8年度事業・予算案/令和8年度役員案
- (5) 参加方式：①**総会(対面)と講演会***に参加
 ②**総会(対面)のみ参加**
 ③**総会(オンライン)に参加**
- (6) 申込方法：**締切/令和8年4月9日(木)必着**

- ・参加方式①②(対面参加)
 ◎申込フォーム(右記QRコード) ◎郵送 ◎FAX のいずれか
 - ・参加方式③(オンライン参加)
 ◎申込フォーム(右記) または ◎メール
 (お申し込みのメールアドレスに配信します)
- 申込フォームは、右記QRコードもしくは、筑紫海会HP「Bikita」から郵送・FAX・メールの場合は、下記を記載の上、筑紫海会事務局まで
- 記載事項/住所、氏名(ふりがな)、卒業回・学科・専攻
 (例：大31英)、電話番号、参加方式

申込
フォームは
コチラ



総会当番学年ご挨拶

■実行委員長 / 山口 久美子(大41食)



同窓会の皆様、今年度の総会当番は、大学41回、42回、63回、70回生が担当させていただきます。

今回は、来年に創立100周年を迎える筑紫海会にとって、たいへん重要な節目の総会となります。多くの皆様にご参加いただき、心温まるひとときをお過ごしいただけますよう、同窓会役員の皆様や前当番学年の先輩方のお力添えをいただきながら、現在準備を進めております。また、総会終了後には、私たちの大学時代にご指導くださり、現在も精力的にご活動中の村上祥子先生によるご講演会が予定されています。

ぜひお問い合わせの上ご出席くださいますよう、当番学年一同、皆様とお会いできる日を心より楽しみにしております。

当番学年 令和8年度 大学41、42、63、70回生
 令和9年度 大学42、43、44、64、71回生

※ご不明な点は筑紫海会事務局へ
 お気軽にお尋ねください。

*講演会の先行予約期間(12月1日~1月31日)は終了しました。現在一般予約の受付を行っていますが、300席までの先着受付となりますので予めご了承ください。
 *既に講演会の参加申し込みをされている方は、お申し込み不要です。

同窓会筑紫海会へご寄附いただきありがとうございました

2025年1月~12月まで、延べ326名の皆様より4,033,500円(同窓会100周年)、延べ156名の皆様より1,272,500円(一般)の寄附がありました。別紙にて、ご寄附いただいた皆様のご芳名をご紹介します。別紙にて、ご寄附いただいた皆様のご芳名をご紹介します。

同窓会活動は、皆様のご支援とご協力によって支えられています。同封の振込用紙、もしくはBikitaサイト(右のQRコードをご活用ください)からも受け付けておりますので、年会費の納入および同窓会100周年のためのご寄附をどうぞよろしくお願いいたします。



福岡女子大学公開講座のお知らせ

福岡女子大学では、毎年、公開講座を開講しており、どなたでも受講いただけます。2026年度の特別講座シリーズの1つをご紹介します。

- 講座名：「本と人と時代(仮題)」(シリーズ全5回・1回90分)
- 日 時：2026年10月 毎週金曜日 14時~15時30分
- 講 師：向井剛、都地沙央里、村里好俊、山口裕美、濱奈々恵(敬称略)

※日時、講師等は予定

他にも様々な講座があります。詳細は、下記QRコードまたはURLからサイトにアクセスしてご確認ください。

お申込み・お問合せ 福岡女子大学地域連携センター
 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1
 Tel:092-661-2728(直通) Fax:092-692-3220



http://www.fwu.ac.jp/collaboration/exchange/extramural_lecture/index.html

新クラス委員紹介 73回生(2026年卒)

国際教養 学 科	大滝梨花子 荻野史香 白附夢音 高木咲羽
環 境 科 学 科	小代万里奈 長岡真由
食・健康学科	有馬愛華

同窓会の主な活動

- ◎在学生の留学への支援(補助金提供)
- ◎大学との共催事業
- ◎在学生に筑紫海会賞を授与
- ◎会報を年1回発行(HPは随時更新)
- ◎同窓生同士が互いに育ち合う
- ◎総会および支部総会開催などで広く交流を図る
- ◎入会手続きは、筑紫海会事務局(地域連携センター棟1階)へ
 TEL・FAX 092-692-3194
【入会金】30,000円
【年会費】3,000円(在学中は不要)

寄贈図書

- 村上祥子様(大11食)
『古くて新しい今こそ大豆』東京書籍
- 伊佐 浩一郎様
『鎌田貞聞き書き「行雲流水」』九州電力株式会社
- 水口 一志様
『“新聞のおばさん”と呼ばれた 高崎節子の闘い：児童・女性の人権保護に尽くした半生』花乱社



発行者：福岡女子大学同窓会筑紫海会 / 発行所：〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘 1-1-1 公立大学法人 福岡女子大学内
 TEL・FAX：(092)692-3194 [月~金 10:00~15:00] / メールアドレス：tukusimikai@mb2.fwu.ac.jp
 郵便振替口座 01780-7-26212 / 印刷所 ダイアモンド秀巧社印刷株式会社

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。